

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共溝渠維持補修				整理番号	620		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	636
係名		工務係				上位施策名			No		
予算事業名		公共溝渠維持補修		コード	60300		環境美化の推進			15	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 公共溝渠(主に蓋掛けの水路)の利用者及び近隣の住民。				(1) 地方自治法 第281条2項 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊の発生の防止に努め適正な維持管理を図る。				
	活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
		(1) 維持管理面積 (2)				(1) 維持補修対応率 (2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,514	2,478	2,528	2,525	2,526	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	2,514	2,478	2,528	2,525	2,526			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	727	720	728	728	728			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	3,241	3,198	3,256	3,253	3,254			
	単位あたりコスト ÷		円	162	160	163	163	163			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	3,241	3,198	3,256	3,253	3,254				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	99.9				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		水路のあり方検討会より最終答申を受け、今後は各タイプ別に計画的な施行管理を目指す。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公共溝渠は、昭和30～40年代下水道の普及時に残された柵渠、U形溝であり、蓋掛けにより、通路として利用されているものもあるが、未だに開渠のものもある。現在、柵渠、U形溝共かなりの老朽化が目立っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共溝渠は区民にとって、日常生活を支える重要な歩行空間であるが、蚊の発生、悪臭などの環境面のもの、及び柵渠、蓋等の老朽化による破損など様々な要望や意見が寄せられている。
	今後の予測	柵渠やU形溝の耐用年数及び環境問題等を考えると排水設備を設置したうえで埋立てを行ない、区民の生活を支える歩行系道路として機能の改善が求められてくると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 公共溝渠の排水機能を維持保全し、悪臭や蚊の発生の防止をすることで、良好な生活環境を整えている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、その必要経費の精査は実施済みである。 理由または具体的内容: 排水設備の設置等、公共溝渠の機能改善
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 当該施設は、区民全てが利益を得る類のもので、一部の利用者によりのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ねるなどの精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 実施計画を区で立案し、維持補修にかかる除草・清掃等の作業全般を民間事業者へ委託している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 柵渠やU字溝で残された箇所について、コンクリートの耐用年数、環境問題等沢山の課題を抱えている。区民の日常生活を支える重要な歩行等の用に供する空間であり、安心、安全に利用できるよう、機能の改善が求められてくる。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 水路のあり方検討委員会を立ち上げ検討している。最終答申を受け、各タイプ別に、計画的な施行管理の策定を、早急に完成させる必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 計画的な施行管理の策定が定まるまでは、現行予算規模内での運用を予定している。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		クリーン大作戦				整理番号	667		枝番号			
担当部署名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	688	
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 環境保全の推進				コード		65900		環境美化の推進				15
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例							
	区内の公共の場及び公共施設等				(2)							
	区内の公共の場及び公共施設等				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
秋期の1週間を中心に、自発的に参加する区内の団体・事業者・区民が、区内の公共の場・公共施設等を清掃することを支援する。				区内の公共の場、公共施設等のごみを収集し、落書きを消すなど、区内全域をクリーンな状態にする。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 参加団体数				(1) 不法投棄粗大ごみ処理件数								
(2) 参加人数				(2) 空き缶等の散乱状況調査(中杉通り) 毎年3月中の1日を調査								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体	157	183	190	179	200	220	81.4		
	活動指標(2)		参加者	11,421	11,464	13,000	10,567	13,000	14,000	75.5		
	成果指標(1)		件	2,723	3,424	2,500	2,852	2,500	2,300	124.0		
	成果指標(2)		個	2,549	402	350	198	190	180	110.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,499	1,387	1,500	536	1,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,362	1,349	1,365	1,365	1,365				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,861	2,736	2,865	1,901	2,865				
	単位あたりコスト ÷		円	18,223	14,951	15,079	10,620	14,325				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,861	2,736	2,865	1,901	2,865					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	94.2	活動指標(2)の16年度達成率%	81.3	16年度予算執行率%	35.7	経費の大半は清掃用具の購入で、16年度は腕章は配布せず、ごみ袋・軍手を配布した。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民等の声を聴き、17年度はごみ袋のみの配布とする予定で、若干であるが経費の削減を図る。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年々参加者は増加し、平成16年度は台風と長雨で参加者・団体は若干減少したが、10,567名、179団体を数えるまでになっている。今では、区民・事業者・行政の中に、秋期に実施する行事として定着している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年参加者からは、「概ね好評」の声が届いている。ただし、年一回のみのイベントとしてではなく、複数回もしくは継続した実施を望む意見も多い。また、執行体制については、区役所が事務局の役割を担うことを望む声がある。
	今後の予測	当面、環境課が事務局を担い、実施団体等から提案された各企画の調整を行いながら実施することで、まちのクリーン運動の輪を広げ、環境からのまちづくりのきっかけにすることができる。将来的には、クリーン大作戦の定着具合や環境配慮行動につながる意識の変化の具合をみて、廃止もしくはNPOへの事業の移行を検討する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例(以下「条例」という。)の浸透を図り、地域の愛着心を育むことにより、地域環境の美化意識の醸成が可能となるとともに、環境からのまちづくりに寄与できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 環境配慮行動を理解し、実践する区民や事業者が増えるほど参加団体や参加人数は増えることになる。従来、各団体への呼びかけや広報紙、パブリシティ、ホームページなどで周知してきたが、今後は学校・事業所も含めPRの拡大を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 本来、環境美化は住民が行うべきものであり、清掃用具一切は住民負担で、行政はごみの収集運搬を無料で行うことが望ましい。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [補助金方式への切り替え] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 杉並環境ネットワーク等の環境NPOへ補助金方式により切り替えることで、コスト削減の可能性はある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由または具体的内容: 現状では、区民等は事業に対する「参加」の域を出ていない。地域住民が主体的に当該事業を行うことではじめて協働が実現する。  理由または具体的内容: 現状では事業の移行は実現していないが、近い将来、杉並環境ネットワーク等の環境NPOが主体となり事業を展開することが望ましい。区は ごみの無料収集 人件費・資材購入費・事務費等の補助で支援していく。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 現在の区の事業として計上している予算を、補助金形態とすることで地域団体等の自主的な活動を促す。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 幅広い区内団体(学校・事業者含む)への参加呼びかけをきめ細かに行うことで、より多くの区民の参加を促すことができる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当面の課題: 現状での事業者・区民の意識はまだ大量生産・大量消費の枠を抜けきれていない。大部分の区内事業者が日常的に清掃を実施すること、区民が住んでいる地域を自ら日常的に清掃することができるまで、クリーン大作戦を通して確実に意識の変革を図ることが重要である。このような意識の変革を通して、将来的にはクリーン大作戦という区内一斉清掃が、事業者・区民の自主的な運営によって実践されるよう具体的な検討を図っていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	より多くの事業者・団体・区民が参加することが当該事業の成果につながるため、限られた予算の中できめ細かいPR方法や参加しやすい雰囲気づくりを工夫する。また、NPO法人環境ネットワークと具体的な検討を開始する。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき地等の管理指導				整理番号	668		枝番号				
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	689		
係名				生活環境担当				上位施策名		No			
予算事業名				環境保全の推進				コード	65900		環境美化の推進		15
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条 (2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例 (3) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則 杉並区あき地等の管理の適正化に関する指導要綱						
	土地・建物の所有者及び管理者												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
あき地等の雑草等の除去についての要望・苦情を受け、所有者・管理者に対し適正な管理について指導する。				あき地等の適正管理に努め、地域の生活環境を適正に保つ。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 要望・苦情の受付数				(1) 適正管理処置率 = 適正管理数 ÷ あき地数									
(2) 除草機具の貸出数				(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	93	82	95	113	100					
	活動指標(2)		件	10	13	15	6	10					
	成果指標(1)		%	81	72	85	75	85					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	13	73	47	150	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	77					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.65	0.30	0.95	0.30	0.90	0.35	1.00	0.35	1.00	0.35
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,904	8,544	8,190	9,100	9,100				
		非常勤職員分		千円	881	828	1,008	1,008	1,008				
	総事業費 + +		千円	6,785	9,385	9,271	10,155	10,258					
	単位あたりコスト ÷		円	72,957	114,451	97,589	89,867	102,580					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	6,785	9,385	9,271	10,155	10,258						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		118.9		活動指標(2)の16年度達成率%		40.0		16年度予算執行率%		64.4	
		適正管理の指導に対して対応をしない案件がある。こうしたケースについては、継続して要請している。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		条例改正により改善に向けての区の強い姿勢を示したが、指導に応じない事案においても、継続して粘り強く指導を行っている。 条例改正による委託及び代執行の関連経費を予算化した。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	美化条例の施行及び安全美化条例への改正施行で、あき地の適正管理に加えて、対象が土地・建物全般に広がるなど事業の範囲が拡大している。また、条例の一部改正により代執行や委託の制度を創設したことにより、より強い姿勢で改善指導に取り組むことができるようになった。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	私有地へのごみの不法投棄や放置などについて対処を望む要望がある。区では対応困難なケースも多々ある。
	今後の予測	近年、都市化・宅地開発が進んだことなどから近隣の関係が希薄となってきていること、地域の美化意識が高まっていること、雑草の花粉などに敏感に反応を示す人などがいることから、今後も対応件数は増えていくと予測できる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 基礎的自治体の基本的な仕事であり、地域の生活環境を快適に維持していくためにも必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 指導に対して対応しないケースについては、継続して要請していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 私有地があき地となった場合、地域の環境保全のための措置を講ずるのは、区の役割であって、周辺区民に経費負担を求めるのは適当でない。ただし、除草等の管理経費は所有者・管理者が負担している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 所有者の調査、指導は、区が行うことで実効性が確保されており、委託にはなじまない。現行の方法に代わる手法は見出しがたい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由または具体的内容: 個人の財産権の問題もあり、当面協働は困難である。
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 よりきめ細かな調査と指導を行っていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 冬期一斉調査に基く管理不良ケースの洗い出しと適正管理指導を実施する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 安全美化条例の一部改正で、委託及び行政代執行を規定したことにより、今後困難ケースについて委託及び代執行を実施する可能性が増となる。 ただし、委託費用は所有者又は管理者の支払いを受け、代執行経費は義務者から徴収する。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活環境の整備				整理番号	669		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	690	
係名		生活環境担当				上位施策名			No			
予算事業名		生活環境の整備		コード	65950		環境美化の推進			15		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条 (2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例 (3) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		路上禁煙地区で環境美化パトロールを実施し、違反者に対する指導を行う。 区内全域での歩きタバコや吸い殻・空き缶のポイ捨てをなくしていくよう、条例の周知、普及・啓発を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 路上禁煙地区を中心に、歩行喫煙者をなくす。 吸い殻や空き缶のポイ捨てをなくし、きれいなまちを実現する。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 路上禁煙地区数 (2) 路上禁煙地区の1日あたり指導数の平均							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		箇所	4	6	6	6					
	活動指標(2)		件	318	100	145	100					
	成果指標(1)		本	359	250	267	250					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,798	32,503	16,966	43,977	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	12,379	430	7,935	25,062					
	職員数(常勤   非常勤)		人	3.00   0.20	2.00   0.20	2.00   0.20	2.00   0.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	26,982	18,200	18,200					18,200
		非常勤職員分	千円	0	552	576	576					576
	総事業費 + +		千円	0	68,332	51,279	35,742					62,753
	単位あたりコスト ÷		円		17,083,000	8,546,500	5,957,000					10,458,833
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	0	68,332	51,279	35,742	62,753					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	145.0	16年度予算執行率%	52.2	路上禁煙地区に設置予定の掲示板が予定数設置できなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		15年度からの新規事業。パトロールを国の緊急地域雇用対策事業の経費により実施してきたが、当該事業が16年度で終了したため、パトロール経費について全区区からの支出となる。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度の安全美化条例への全面改正により、10月の条例施行と同時に路上禁煙地区を指定する。16年2月には追加指定を行い、JR4駅周辺を路上禁煙地区とする。17年2月新たに私鉄駅周辺2地区を路上禁煙地区に指定する。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	路上禁煙地区では、歩きたばこや吸い殻のポイ捨ては激減したが、禁煙地区の周辺地域では逆に増えたという意見もある。 また、路上禁煙地区以外では、一向に改善されていないという意見もある。
	今後の予測	路上禁煙地区の追加指定。条例の趣旨の周知・徹底。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由：環境美化及びび分煙化施策に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容：条例の周知、啓発方法等の検討を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容：罰則適用については、条例施行の効果をみて、判断する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：条例の周知、啓発方法等の検討を行う。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	理由または具体的内容：学識経験者、防犯協会、町会、商店会、公募区民、警察、消防等で組織された杉並区生活安全協議会で、路上禁煙地区等の運用について協議していく。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 引き続き、喫煙マナーの向上につき、協議会に諮っていきたい。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果：</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 路上禁煙地区指定後数年を目途に、パトロール体制の見直しを行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 罰則規定適用の有無。条例の周知度合い。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 路上禁煙地区に限らず、区内全域で歩行喫煙、ポイ捨てが禁止であることの周知度合いを高め、路上禁煙地区での改善効果が区内全域に波及するよう努める。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		カラス被害対策				整理番号	688		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	708	
係名				生活環境担当				上位施策名		No		
予算事業名				各種・防除指導		コード	66350		環境美化の推進		15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条							
	区民				(2) 杉並区ねずみ・こん虫・有害鳥獣等の防除指導要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
カラス110番を開設し、区民からの相談を受ける。特に4～6月の繁殖期には、人に危害を加えるカラスがいる。このような場所での巣の撤去を直営及び委託で行っている。				巣を撤去することによって、安全な生活環境を整える。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) カラス対応での出動件数				(1)								
(2)				(2)								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)		件	302	224	300	274	300				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,362	1,706	4,462	660	4,394	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	3,362	1,706	4,462	660	4,394				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.90   0.80	0.90   0.80	0.90   0.80	1.00   0.80	1.00   0.80	1.00   0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,175	8,095	8,190	9,100	9,100			
		非常勤職員分		千円	2,348	2,207	2,304	2,304	2,304			
	総事業費 ++		千円	13,885	12,008	14,956	12,064	15,798				
	単位あたりコスト ÷		円	45,977	53,607	49,853	44,029	52,660				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	13,885	12,008	14,956	12,064	15,798					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		91.3	活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	14.8			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		カラス110番を開設したことに伴い、出動件数が増える傾向である。東京都の巣の撤去事業が16年度で終了したことにより、17年度から高所作業車の予算を措置したが、これまでの予算の枠の範囲内で対応している。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数年前からカラスによる被害の相談件数が増え、平成14年度からカラス110番を開設した。東京都による3カ年の巣の撤去作業が16年度で終了したため、すべての巣の撤去に区が対応しなくなかった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	カラスの苦情や要望も繁殖期を中心に多く、かつ増加してきている。撤去困難ケースについても何らかの方策を講じるよう要望するケースも増加している。
	今後の予測	カラスの生息数は減少しているものの、生息区域と区民の生活領域は重なっており、苦情や要望はますます増えるものと考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由：カラスが人に危害を加えることに伴う、危険防止する必要がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：区民要望に基づくものであり、成果になじまない。 理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容：個人の管理・所有する樹木の営巣は、個人の管理責任という考え方もできるが、個人の責に帰すべき理由でなく自然現象に近い事柄であることから、慎重に実施する必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容：全面業者委託により実施する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	理由： 理由または具体的内容：区民からの要望により、実地調査の結果、直営で実施可能なところは直営で実施し、直営実施ができない箇所について委託する。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区民からの要望により、実地調査の結果、直営で実施可能なところは直営で実施し、直営実施ができない箇所について委託する。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果：</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 繁殖期に苦情が多く寄せられるカラスの営巣について、平成14年度に総合的なカラス対策の一環として拡充した。直営と委託で実施しているところを全面委託する可能性を検討する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現場調査から撤去までの時間がかかるなど、機動性をはじめとするサービスの低下を招くおそれがある。対応業者の選定を慎重に行う必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 引き続き全面委託の方向性について検討する。また委託でも撤去困難なケースの撤去についての方策を講じる。